

鈴鹿の風

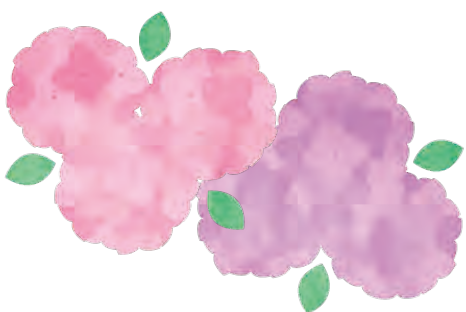
すずかのかせ

MDA5

院長 久留 聡

VOL.
51

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院広報誌



新任者の紹介
療育指導室からのお知らせ
地域医療連携室だより
医学コラム
名誉院長の部屋「おサルさんダヨ」



MDA5

独立行政法人国立病院機構鈴鹿病院 久留 聡

当院の診療3本柱は筋ジストロフィー、神経難病、重度心身障害です。進行性筋ジストロフィーは遺伝性の病気で、徐々に全身の筋肉が痩せて（萎縮して）、力が入らなくなります。デュシェンヌ型をはじめ、様々なタイプ（病型）があります。以前この欄でも紹介しましたが、最近、疾患の進行を緩徐にする治療（疾患修飾療法）が開発されつつあります。どのタイプにも有効な治療ではないので、どの病型であるのかを見極めること（病型診断）がとても重要です。それより前に、そもそも本当に筋ジストロフィーであるのかを確認する作業（鑑別診断）が必要です。筋ジストロフィーと似た症状や経過をたどる他の疾患も少なくありません。その代表的なものが皮膚筋炎をはじめとする自己免疫性炎症性筋疾患です。両者の鑑別に役立つのが自己抗体で

す。筋生検と違って、少量の採血のみで測定することができます。次々に新しい抗体（筋炎関連自己抗体）が発見され測定できるようになっています。最近の研究で自己抗体の種類と臨床像とがある程度関連することが判ってきました。抗MDA5抗体という自己抗体があるのですが、これが陽性の場合、筋症状は軽微なのですが急速に進行する間質性肺炎をともしない非常に予後が悪いとされています。この抗体が認識するMDA5は、ウイルスの侵入を感知して初期の免疫反応を起こす経路を作動させるセンサーの役割を担っているとされます。興味深いことに、COVID-19の肺炎と病像が似ていることやCOVID-19においてこの抗体が陽性の場合重症化しやすいことが報告されています。

昨年末に演歌歌手の八代亜紀さんがお亡

くなりになりましたが、彼女の命を奪ったのがこの抗MDA5抗体陽性筋炎でした。八代亜紀さんといえば言わずと知れた大物演歌歌手であり、紅白歌合戦の常連で日本レコード大賞も受賞されています。特にトラック運転手には絶大な人気がありました。私自身は、演歌はあまり好きではなかったのですが、「雨の慕情」や「舟唄」など、独特のハスキーボイスで歌い上げる彼女の唄には心惹かれるものがありました。晩年にはテレビ番組でJazzを歌われているのを見たことがあって、演歌からJazzまでジャンルを超えて幅広く歌える懐の深さに驚いた記憶があります。昭和のスターのご冥福をお祈りしたいと思います。



新任者の紹介



さわむら ともこ
澤村 智子 看護部長

静岡医療センターから赴任してまいりました澤村と申します。出身は静岡県で、三重県には神経ネットワークと観光で3~4回訪問した程度ですが、鈴鹿病院の担当診療科と自然豊かな環境が以前勤務していた病院によく似ており、どこか懐かしい気持ちになりました。

院内の桜が満開になることを楽しみにしつつ、患者様が安心してその人らしく生活できる環境が提供できるよう、看護部職員とともに努力してまいります。

また、初めての三重県での生活ですので、いろいろ探索して楽しみたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



みやた ひろたか
宮田 裕隆 業務班長

天竜病院より赴任してまいりました宮田と申します。4年前、鈴鹿病院では専門職として勤務しておりました。

4年前の異動時は、ちょうど新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた時期で、移動の自粛が叫ばれ、転動のために高速道路を走っていても車が全く走っておらず、異様な雰囲気であったことを思い出します。

久しぶりに戻ってきた鈴鹿病院では、新型コロナウイルス感染症の影響を感じるものの、馴染みのある職員の方々の顔を見てほっとする思いがありました。

微力ではありますが、鈴鹿病院の発展に貢献できるよう努力してまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



はしもと かおり
橋本 香織 東2階病棟 看護師長

三重病院より赴任してまいりました。重症心身障がい児（者）病棟に着任いたしました。

三重病院では、手術室・整形外科病棟・内科病棟・重症心身障がい児（者）病棟の経験がありますが、重症心身障がい児（者）病棟は1年ととても短く、まだまだ分からないことばかりです。

至らないことも多くご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、患者様や御家族様との出会いを大切に、よりよい看護が提供できるよう努めていきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



ながと りな
永戸 里奈 第1病棟 副看護師長

三重中央医療センターから赴任して参りました。三重中央医療センターでは、消化器外科・泌尿器科・NICU・産婦人科病棟で勤務していました。

神経難病病棟で勤務するのは初めてとなり、緊張しています。

患者様の思いを尊重して安全・安心して過ごせてもらえるような看護を提供できるよう頑張りたいと思っております。

ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



たな よしゆき
棚田 良之 事務部長

この度、医王病院から赴任しました、棚田と申します。出身は富山県で、愛知県、静岡県、石川県と転勤してきましたが、三重県の勤務は初めてです。

鈴鹿病院に来ての感想は、敷地内の桜が美しく、環境の良く、きれいな病院だなと思いました。

まだまだ微力ではありますが、患者様や職員の皆様のために頑張っていきたいと思っております。

皆様のご協力をお願いいたします。



わたなべ よしひろ
渡邊 祥弘 診療放射線技師長

初めまして、診療放射線技師長の渡邊です。石川病院から数回目の転動で、病院・病院、長良医療センター、静岡医療センター、石川病院そして初三重になります。

自宅は岐阜なので少し近くなりました。とりあえず、皆さんにご迷惑をおかけしないように早く仕事を覚えねばと思っております。

放射線科は3人と少ないですが、気軽にしゃべりに来て下さい。皆様、よろしく申し上げます。



いとう ゆか
伊藤 友香 西2階病棟 看護師長

初めまして、三重中央医療センターより着任いたしました、伊藤友香と申します。

看護師となり三重中央医療センターに就職し、呼吸器外科内科・外科・泌尿器科・整形外科・皮膚科と看護師としての経験を積ませていただきました。

今回、看護学生の時の実習以来のセーフティネット分野の看護に携わる機会をいただき、新任看護師長でもあり緊張もしております。

未熟なことも多く至らないこともあるかとは思いますが、一生懸命頑張っていきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



まつもと まき
松本 麻紀

富山病院より異動になりました。
3年ぶりの鈴鹿病院となります。
患者様が安心して生活できるようより添った看護を心がけていきたいです。
よろしく申し上げます。

むらた まほ
村田 真穂

名古屋医療センターより異動で参りました。
新しい環境で戸惑うことも多いと思いますが、患者・家族に寄り添った看護ができるように、頑張っていきたいと思ひます。
よろしく申し上げます。

みやぎ みなこ
宮城 美奈子

三重中央医療センターより異動して参りました。
初めての分野で不安もあり、ご迷惑をおかけすることも多いと思ひますが、頑張りたいと思ひます。
よろしく申し上げます。

うらの
浦野 あかね

10年以上消化器外科、泌尿器科の混合病棟で働いてきました。
心機一転鈴鹿病院への異動を決断し、不安でいっぱいですが、新しいことを学んで頑張りたいと思ひます。
ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

さいき たつや
佐伯 龍哉

4月1日付で転勤になりました。佐伯龍哉です。
精一杯頑張りますのでよろしく申し上げます。

あさづ もえと
浅津 萌人

初めまして、看護師6年目の浅津萌人です。
患者さまに寄り添った看護を心がけたいと思ひます。
よろしく申し上げます。

あおき けんしん
青木 健真

日々、一生懸命に仕事を頑張りますのでご指導よろしく申し上げます。
日々、明るくをモットーに頑張ります。

さとう みゆき
佐藤 美幸

勉強不足でわからないことがたくさんあると思ひますが、実践していく中でいろんなことを吸収して、仕事に対する責任感や自覚を持って頑張ります。

すさき たいち
須崎 太一

たくさんの患者さんに寄り添い、質の良い看護を提供できるよう日々勉強し、自己研鑽に励みたいと思ひます。

たかい ゆうこ
高井 優子

患者様やご家族様に信頼していただけるような看護師になれるよう、日々勉強をして知識と技術を身につけていきたいと思ひます。
これからご指導のほど、よろしく申し上げます。

かわぐち しおん
川口 紫遠

日々熱意を持って仕事に取り組み、何事も前向きに学んでいきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしく申し上げます。

にしやま みかこ
西山 海香子

新しい生活が始まり不安もありますが、患者様1人1人に寄り添った看護を提供していきたいです。
笑顔を大切に精一杯頑張りますのでご指導のほどよろしく申し上げます。

かめい ふうか
亀井 風花

患者さんの個別性を大切に、ひとりひとりの気持ちに寄り添った看護が行えるよう、日々知識や技術を身に付けていきます。

のだ ありす
野田 亜莉珠

看護師としてのスタートラインに立てたばかりですので、さまざまな経験を積み、さらなる自己研鑽を怠らず、すべての患者様に寄り添うことのできる看護師を目指していきたいと思ひます。

きし あかり
岸 紅里

大きく環境が変わり不安もありますが、患者さん1人1人の思いを大切にしたい看護ができるように頑張ります。
ご指導よろしく申し上げます。

まん のう やすなり
萬濃 泰成

新生活に対応しながら、西2階病棟の患者さんの個性に合わせた看護を提供できるように努力していきます。

おくむら なるみ
奥村 成海

このたび、西1階病棟に配属されました奥村です。
わからないことが多く不慣れでごちないと思ひますが、精一杯がんばります。
これからよろしく申し上げます。

さとう ゆうか
佐藤 優歌

働き始めて6年目になります。
これまでは生理検査に携わってきました。
環境が変わり不慣れなことも多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思ひますが、どうぞよろしく申し上げます。

おかざわ ゆい
岡澤 結衣

社会人として働くことに不安が大きいですが、それ以上にとても楽しみにしています。
精一杯頑張ります！よろしく申し上げます。

こじま れみか
小島 玲美華

患者様に安全に日々過ごしていただけるよう環境整備や必要物品が届けられるように助手として日々基礎的な知識を身に付けていきたいです。

いちかわ りょうた
市川 涼太

初めてのことは不安もありますが、この緊張を忘れず頑張りたいと思ひます。
また、至らぬ点も多くご迷惑をおかけすると思ひますが、何卒宜しく申し上げます。

すずき りの
鈴木 梨乃

一日でも早く仕事を覚え、お役に立てるよう頑張りたいと思ひます。
よろしく申し上げます。

かね こまなせ
金児 愛世

患者さんに寄り添って優しく安心できる関わり方をしていきたいです。

新任者の紹介



療育指導室からの お知らせ

2月22日(木)・29日(木)に『DUO ぺるるさくれ』による、フルーツ演奏会が開催されました。当日は、「見上げてごらん夜の星を」「津軽海峡冬景色」「川の流れるように」「瑠璃色の地球」「春よ、来い」の5曲を演奏いただきました。2日間で全病棟を回っていただくという、タイトなスケジュールではありましたが、2～3カ所の病棟を連続で演奏しているとは思えないほど優雅で、素敵な演奏を聴かせていただきました。

2日間で計@@名の患者さんが演奏会に参加しました。患者さんたちは普段とは違う雰囲気の中で、少し緊張した

面持ちの様子も見られましたが、実際に演奏が始まり、病棟が音色で包まれると“うっとり♪”。また、曲に合わせて身体を揺らしたり、歌詞を口ずさんだり、感極まって泣いてしまったり…する姿も見られ、今回の機会を患者さんそれぞれ有意義にお過ごしいただけた様子でした。『DUO ぺるるさくれ』のおふたりには、お忙しい中、演奏会を開催下さり、感謝の気持ちいっぱいです。ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症が5類となり、世間では感染対策への意識も薄れている感じがあります。しかし、鈴鹿病院に入院されている患者さんたちは、障がいがあり、その程度が重症の方もおられるため、より一層しっかりとした感染対策を行っています。

そのような中で、少しでも

患者さんたちに楽しい・有意義な時間を提供できれば…と思い、さまざまな企画を計画しています。患者さんたちは音楽が好きの方も多く、「生演奏を聴きたい!!」というリクエストもいただきます。そのため、今回の『DUO ぺるるさくれ』の演奏会も、とっても好評でした。ぜひ、またの機会を…と思います。でも、そのまえに次回は…。何が開催されるのかは、お楽しみに?!

療育指導室 主任保育士
鈴木みえ・酒井達司



地域医療連携室だより

《新任者の紹介》

4月より地域医療連携室に配属されました。地域医療連携係長として勤務しております。地域医療連携室(以下『連携室』と略)業務は初めてで、不慣れなことやわからないことが多く、連携室の優しいスタッフにフォローしてもらっています。院内各部署や近隣施設、関係機関と連携して、患者様やご家族様が安心して過ごしていただけるよう、精一杯努めていきたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

看護師長 鈴木 和子

お問い合わせ

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院 地域医療連携室 医療福祉相談室

電話:059-378-1321(代) FAX:059-379-6670(直通) お問い合わせ時間:平日8:30~17:15

医学 コラム

脳神経内科 野田 成哉

皆さんこんにちは。

2024年4月より、脳神経内科部長になりました野田です。脳神経内科部長職は、2021年3月に酒井素子先生が退職されてから、2024年3月まで副院長である南山誠先生が掛け持ちをされておりました。業務内容については、就任したばかりで十分把握できていないところもありますが、なるべく皆さんにご迷惑をおかけしないように、順次引継ぎをしていきたいと思っております。

昨年度まで臨床検査科長の立場でもありましたが、これについては、今年度も継続となっております。

2004年に三重大学を卒業し、市立四日市病院で2年間研修後、そのまま神経内科(現:脳神経内科)として6年間勤務し、2012年に名古屋大学大学院に入学しました。大学院卒業後、客員研究員として、2023年9月まで大学に所属しておりました。2016年4月より、鈴鹿病院に勤務しております(2016年4月から2023年9月までは、大学と鈴鹿病院を掛け持ち)。医師になって節目の20年を超えたところです。

鈴鹿病院で働き始めた当初は、急性期病院、大学病院とは大きく異なる患者層に驚きましたが、少しずつ適応してきたつもりでいます。まだまだ至らぬ点があるかと思いますが、皆さん今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



訃報のお知らせ

小児科医として重心患者さんの診療に貢献いただいていた河井和夫先生ですが、3月にお亡くなりになりました。

昭和気質の先生でフラフラになりながらも頑張って患者さんに付き添っておられた姿を思い出します。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

名誉院長の部屋

おサルさんダヨ

名誉院長 小長谷 正明

去年の秋の始め、残暑どころか猛暑がそのまま続いているような一日が過ぎ、自分の車に乗ってドアを閉めたときに、何かがボンネットに飛び乗った。次の瞬間、フロントガラス越しに僕と目が合う。口を開き、歯を剥いて手を伸ばしてくる。それなりの親愛の情なのか。それとばかりに、スマホを取り出した。と、こちらの動作に驚いたのか、その若ザルは向こうの車に跳んで行き、ワイパーのブレードをかみ始めた。空腹なのか。そのまま様子を見てみると、ピョンピョンと屋根を飛び移りながら駐車場脇の桜の木陰に隠れてしまった

翌日、外来の看護師さんにその話をすると、「あの仔は病院の玄関の外をあちこちと飛び回って面白いです」と。近所のコンビニでは、通学途中の女の子が「サルが出た！」と叫んで飛び込んできたという。以前にもあった“サル”の難民”だろうか？

まだ、鈴鹿病院の施設整備は進んでなく、古い平屋の病棟が並んでいた15年前の初夏。朝のミーティングに、総看護師長（現・看護部長）さんが、「まあ～失礼しちゃう」とお冠で現れた。ビシバシ指示でテキパキ実行の人がお怒りなのだから、如何程ほどのできごとかと聞いてみた。

「朝、職員宿舎からの出勤で、古い病棟の脇を歩いていると、何かが跳んで屋根の上に登った。オヤッと見上げると、サルが2、30匹も並んでいる。追い払おうとして、私が大きく手を振ると、一斉に歯を剥い

て、みなでせせら笑ったようで、失礼しちゃう」

病棟脇の枇杷の実でサル達は満腹し、目の前を歩く小柄な彼女にアフィニティを感じたに違いない。が、そんな感想でビシバシ総師長のお怒り倍増では剣呑だ。それに、サルが患者さんに跳びつきでもしたら事故になる、病院長として対応しなければいけない。かといって、手荒なことはしたくない。

早速、事務官に市役所に問い合わせに行ってもらった。

「鳥獣保護法があり、猟友会での駆除などはもっての外、それに何十匹もいるので罠での捕獲も大変です。地図を見せてもらいましたが、三重県には100くらいのサル集団があり、それぞれの縄張りの中を移動している。亀山の山林の群れが、液晶テレビの大工場建設で棲家を失い、彷徨い始めました。

が、果樹も畑もない病院には住みつきませんと。どうしても居座るようだったら、これで追い払って下さいと爆竹を渡されました」

折から、中東の難民がトルコやギリシャから陸伝いにヨーロッパに移動して国際問題になっていた時期だ。難民サルにもサルなりの道理があり、猿権もある。

数日後、早出の職員がバス道路を渡り、加佐登神社の山のほうに向かう群れを目撃して、サル”の難民騒ぎは治った。

JR小田原駅から登山電車で行く箱根病院は自然が豊かな、鈴鹿病院と同じようなセイフティネット系病院だ。院長だった石原傳幸先生は若い頃から筋ジストロフィー医療に精力的な方で、また同じ病院長として厳しい病院運営とともに乗り越えて来た戦友でもある。薄毛にはなったもののオールド慶應ボーイだ。シャンとして病院玄関に向かってしているとコンビニ・レジ袋を引っ張る奴がいる。“誰だ、こんな悪戯をする奴は！”と振り向くと、小ザルがネエネエと言わんばかりにオニギリをねだっていた。病



おサルさん



ハヌマン・ラングール

棟の背後には山裾が迫っており、当たり前のようにサルが構内で戯れ、屋根にも登ってくる。しかし、親しき中にも礼儀ありだ、コラッ”と追い払ったと。

インドでは、サルはもっと身近だった。30年以上も前になるが、国際学会で訪れた時、地方の寺院や古い宮殿の庭にはサルが決まって群れていた。ハヌマン・ラングールだ。頭も体もスマートで、犬でいえばドーベルマンみたいに優美なナイス・パティで、インドが誇りとするサルだ。長いムチのような尾を波打たせながら、チーターやグレイハウンドのようにしなやかでリズムカルに、数頭の群れが駆け回っている。ただしサルなので、木にも登れば、屋根にも駆け上り、そこから次の建物にジャンプする。まさに孫悟空の乱舞のようで面白い。

インド人のガイド氏にあれがラングールかと聞くと、ムツとした表情で、“そんな可愛そうな言い方はダメです”とピシャリ。じゃあ、ハヌマン・ラングールかと聞くと、それはもっと変だと言う。ラングールは単にサルといった蔑んだ言い方で、この動物はサル神様なのでハヌマンと呼んで敬って下さいと。つまり、ハヌマン・ラングールでは“猿田彦・エテ公”のニュアンスになるらしい。

インド神話の“ラーマヤナ”では、ハヌマンは風の神と天女との間に生まれた神猿で、体の大きさは変幻自在に変化して空中飛行をし、好色の魔王ラーヴァからラーマ神の後シータを救い出すなどと大活躍をする。毎週火曜日はハヌマン様の日で、人々が敬って餌をやるので、慣れているのだという。人間を恐れる様子などは全くなく、寺院の庭に飛び交っている様子を見ていると、神話での大活躍も宜なるかなだ。

インドには賢いサルがいる。駅の近くに住んでいて、汽車に群れて飛び乗る。お国柄で、駅員も車掌も乗客もそれを許す。本当は、サル”の軍団に恐れをなしているのかもしれない。なんせ、ハヌマンはサル神なのだから逆らえない。餌の豊富な駅か場所でサル軍団は

列車を降り、食事に励む。夕方、下りの列車が来ると、またそれに乗って元の寝ぐらに戻るとのこと。話盛り盛りの肩唾ガイド氏が言うことだが、この国ならば本当かもしれない、つい信じたいくなる。ウシだけではなく、全ての生き物に寛容な国なのだ。

猿知恵と言うが、日本のサルもそれなりに賢い。宮崎県海岸の研究目的で餌付けされていた集団では、ある時、若いメスが汚れたサツマイモを海水で洗ってから食べた。すると、清潔目的か、塩味が良かったのか、他のサルも真似始めた。サルがサルを真似た究極の“猿真似”だが、この集団独特の文化として芋洗いは何十年も定着している。もっとも、ボスなど高齢サルは新しい習慣には馴染めず、人間同様に保守的だ。ニホンザルを英語では“Snow monkey”というが、信州や東北のサルは冬になると雪の中で温泉に入る。世界中で入浴サルは他になく、人間が教えたのではない。

サル”の集団はヒト並みにきちんとした序列社会で、その筋で言えば親分・若頭・手下、大学でいえば、教授・准教授・医局長・・・という具合だ。そして、平和裡あるいは抗争の末でのトップ交代が起こり、有名な大分の高崎山や動物園などの猿争抗争は、新聞の社会面を



神猿ハヌマン

時々賑わせる。

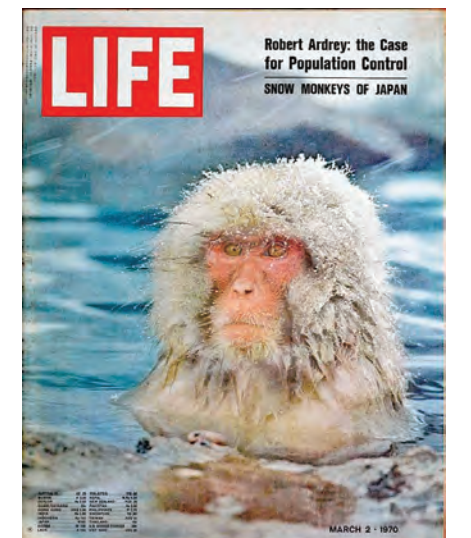
鈴鹿山脈の裾、ミルクロード脇の林の中に、小さなホスピス病院があった。見舞いで訪れると、敷地の入り口の木株に大きなサルが座って迎えてくれた。看護師さんに聞くと、キリスト教の病院らしい鷹揚な言葉が返ってきた。

「ええ、よく現れます。なにも悪いことをしませんし、まわりの山にも餌があるようです。私たちも、毎日おサルさん達ご機嫌でなによりと思っています」

病室から外を眺めていると、突然、サル”の群が現れ、ボスザルらしいのを先頭に次々と若ザル、親子ザルと続いて、室内を覗くのではなく、黙々と行進して藪の中に消えていった。

昨今の日本では、野生とのトラブルがあると“害獣駆除”の言葉が直ぐにマスコミを賑やかす。人は人なりの、動物は動物なりの事情はあるにしろ、知恵と工夫で、なんとか人々の生活とサルたちが共存できないものか。足柄山の金太郎のようにクマにまたがりお馬の稽古は金輪際不可能だとしても・・・。

あの、ボンネットの若ザルは捕獲されたそうだが、その後どうなったのだろうか、気になるところだ。



雪の中の温泉猿を世界で紹介したLIFEの表紙（March.2.1970）

■ 外来診察担当表 (2024年4月1日現在)

	月	火	水	木	金
脳神経内科	南山	小長谷	久留	小長谷	久留
	木村・野田	酒井			
内科	野口	野口	牧江	落合	
		落合			
小児科		予約			予約
整形外科		田中 (装具外来)			田中
リハビリテーション科		田中			田中
皮膚科		予約(午前)			予約(午後)
歯科	上村(午前)	北村(午後)		永田(午後)	
禁煙外来	野口			落合	

- 外来受付は8:30~11:00、診療開始は9:00~です。
- 歯科は身体障害者の方に限ります。
- 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越しください)。
- 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約ください。
- スギ花粉症でお悩みの方を対象に舌下免疫療法を実施しています。(月曜日)
- 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。

■ 交通案内

- JR「加佐登」駅より徒歩15分
- 東名阪「鈴鹿」I.C.より車15分
- 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ



編集後記

梅雨入りのニュースが気になる季節となりました。いかがお過ごしでしょうか。鈴鹿病院では、新しい職員を迎えて2か月が経ちました。フレッシュな職員たちが曇りや雨でじめじめとした時期を吹き飛ばしてくれることでしょう。梅雨が明けると本格的な夏がやってきます。暑さで体調を崩さぬよう元気で過ごしてください。

臨床検査技師 水野 舞梨花

独立行政法人国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501 三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号 Tel 059-378-1321(代) Fax 059-378-7083 <https://suzuka.hosp.go.jp>